

令和2年度四国森林管理局保護林管理委員会
議事概要

1. 日時：令和3年2月4日 13:30～15:45
2. 場所：四国森林管理局 局議室（WEB会議）
3. 議題
 - (1) 令和2年度 保護林モニタリング調査結果について
 - (2) 令和2年度 四国山地緑の回廊モニタリング調査結果について
 - (3) 保護林の経過観察について
 - (4) 緑の回廊モニタリング調査箇所の見直しについて
 - (5) 令和3年度 保護林及び緑の回廊モニタリング調査(案)について
 - (6) 令和3年度 保護林及び緑の回廊における事業の予定について

4. 概要及び意見等

(1) 令和2年度 保護林モニタリング調査結果について

令和2年度保護林モニタリング調査結果について、受託者及び事務局より説明し了承された。

（委員からの主な意見）

○今回のツキノワグマの情報は、今までの四国の記録ではかなり南における記録となるので、今後もこの地域の生息状況を把握していただきたい。

（事務局）はっこプロジェクト等により実施して参りたい。

○今回調査した保護林では、ニホンジカの被害が深刻であり早急な対策が必要である。

（事務局）ツキノワグマが確認された地域であり、錯誤捕獲対策が整備された段階でワナによる捕獲を実施して参りたい。

○モニタリング調査の経年比較や報告時の課題解決をしっかりとやっていただきたい。

（事務局）今後、そのように対応して参りたい。

○ヤナセスギ保護林の3か所は林分状況にあまり変化がないので、モニタリングは10年単位でよいのではないかと。

（事務局）鳥獣被害がある保護林については5年毎に実施することとなっており、ニホンジカの被害がある地域については引き続き5年毎に実施して参りたい。

○横荒山の攪乱要因があった箇所でシカ柵の有無によるプロットを設置し、モミ・ツガ等の更新の比較を行ってはどうか。

（事務局）現地、横荒林道が豪雨災害により不通となっており、林道復旧後に検討する。

○調査の番号札は、金属タグを針金でぶら下げて釘で打ち付けるよう検討してはどうか。

（事務局）意見を参考に検討して参りたい。

○保護林モニタリングの報告の中で、「スギの実生は確認されず、後継樹も少ないため、天然更新が難しい状況にある。」との記載があるが、天然更新については、調査期間も短く詳しい調査もできていないので、もう少し表現を変えた方がよいのではないかと。

(事務局) 委員ご指摘の方向で整理させていただく。

(2) 令和2年度 四国山地緑の回廊モニタリング調査結果について

令和2年度緑の回廊モニタリング調査結果について、受託者及び事務局より説明し了承された。

(委員からの主な意見)

○三嶺国有林のエリアはシカ被害により土壌侵食が進んでおり、モニタリング調査の項目に裸地化や土壌侵食の項目を追加願いたい。

(事務局)

調査範囲は限られたエリアとなるため、お持ちの状況写真があればいただき検討したい。

(3) 保護林の経過観察について

10年間隔の保護林モニタリング調査について、中間年度に実施した定点写真による経過観察を説明し了承された。

(4) 緑の回廊モニタリング調査箇所の見直しについて

昨年度提案した緑の回廊モニタリング調査の実施個所について、改めて提案し了承された。

(5) 令和3年度 保護林及び緑の回廊モニタリング調査(案)について

令和3年度の保護林及び緑の回廊モニタリング調査(案)について、提案し了承された。

(委員からの主な意見)

○来年度実施の保護林についても、ツキノワグマの生息調査を実施してはどうか。

(事務局) その方向で検討する。

(6) 令和3年度 保護林及び緑の回廊における事業の予定について

令和3年度の保護林及び緑の回廊内における事業の予定について、説明し了承された。

以上